

イチオシイベント
作手 WOC メモリアル
ロゲイン
2006年4月16日

作手 WOC メモリアルロゲイン

村越 真

ロゲインが、世界選手権の舞台・作手にやってきた。ポスターマップを使った制限時間6時間の本格的ロゲイン。初級者、ファミリーのための3時間ミニロゲインも用意。トレーニングによし、ピクニック気分で春の野山を気軽に歩き回るもよし。ロゲインにできれば、あなたも歴史と自然の見所がいっぱいの作手ツウに！

ロゲインとは、簡単に言えば、スコアオリエンテーリングを大規模にしたものです。スコアオリエンテーリングの制限時間は、通常90分ですが、本格的ロゲインではなんと24時間、つまり夜通しでレースで行なわれるのです。

トレーニングにフィットする2つの制限時間設定

今回行なわれるロゲインは、6時間、つまりクォーター(1/4)ロゲインと呼ばれるものです。また初級者や家族連れのために3時間も用意しました。

6時間で低強度長時間を目指すもよし。3時間でロングを想定したトレーニングを行なうもよし。もちろん、3時間はピクニック気分で、作手の名所巡りに活用することもできます。

名所を巡って、あなたも作手通！

作手村は戦国時代、今川・武田・徳川の領土の交点に位置する要衝の地でした。この小さな村に40以上の城砦があったことも、この地の重要性を物語っています。地図名で有名な亀山城址を始め、文珠山城址、賽之神城址、石橋城址などにもコントロールが置かれる予定です。

自然環境的にも、作手には重要な地点がいくつもあります。周囲最高峰の巴山は、男川、矢作水系巴川、豊川水系巴川という3つの河川の分水嶺をなしています。この三川が三河の地名の起こりとも言われていますから、まさに巴山は三河のふるさと。

見逃せないのは、平地分水嶺。ふつう分水嶺は高い山や尾根になります



作手高原の山々。直接見えないが、ピークの後ろに最高峰の巴山がある。

が、時々、谷の中の微高地が分水嶺となることがあり、これを谷中分水嶺と呼びます。作手の場合、微高地どころか、同一の河川が南に北に流れ、二つの河川になるという日本でも特異な平地分水嶺なのです。つまり、岡崎・蒲郡地域は本州ではなく「島」だったのです！

充実のエイドステーション

フィニッシュ地点を含めた3地点に給水・給食のエイドを設定する他、町中を通る今回のロゲインでは、作手中心部のJAで、うどんでもカレーでも好きなもの食べ放題。6時間動き回れば、体重に気になるあなたでも、好きなものを心おきなく食べられますよ！

アウトドアパラダイス作手へ

前日には、ナビゲーション講習と、地元ショップの協力でマウンテンバイクの講習も実施します。作手のアウトドアのすばらしさを、より多くのアウトドアアスリートに知ってほしい、味わってほしい。それも、本ロゲインのサブテーマです。また野外教育センターではカーボパーティも。アウトドアパラダイス作手へ！

なお作手高原では、9月にはトレイルランニング大会を企画しています。オリエンテーリングだけでない作手の魅力をご堪能ください。(村越 真)



巴山の白髭神社。

当然ここにもコントロールが



これが日本で唯一。平地分水点だ。一つの川が南へ北へと流れる。近くには、鴨長明の歌碑もある。